

令和5年度第2回小牧市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時	令和5年11月16日（木） 午後1時30分～午後3時
場 所	小牧市役所 東庁舎5階 大会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>（敬称略）</p> <p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校          梶原 勇 小牧市歯科医師会          福澤 広 小牧市薬剤師会          河内 宏一 小牧市リハビリテーション連絡会          里見 正弘 小牧市介護支援専門員連絡協議会          田中 秀治 一般社団法人 愛知県社会福祉士会          野口 弘美 保健センター          小林 静生 小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>伊藤 俊幸 福祉部 部長          小川 真治 福祉部 次長          西島 宏之 福祉部 地域包括ケア推進課 課長          水野 清志 福祉部 介護保険課 課長          倉知 佐百合 福祉部 地域包括ケア推進課 福祉政策係 係長          吉本 隆正 福祉部 地域包括ケア推進課 福祉政策係          三嶋 直美 南部地域包括支援センターケアタウン小牧 管理者          青木 翔太 小牧地域包括支援センターふれあい 管理者          金田 泰丈 味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷 管理者          高田 かおる 篠岡地域包括支援センター小牧苑 管理者          岡田 江里子 北里地域包括支援センターゆうあい 管理者</p>
欠席者	<p><b>【委員】</b></p> <p>前川 泰宏 一般社団法人 小牧市医師会          榊間 裕子 介護サービス相談員連絡会</p>
傍聴者	0名
事前配付資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和4年度地域包括支援センター事業の評価について          資料2 第1号介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部委託について（報告）          参考資料1 地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（通知）          参考資料2 市町村及び地位包括支援センターの評価指標          参考資料3 介護予防プラン及び第1号介護予防プラン作成の推移</p>
当日配付資料	配席表

## 1. 開会

## 2. 議事

### (1) 令和4年度 地域包括支援センター事業の評価について

- ・市と各地域包括支援センターより令和4年度事業について説明。概要は次のとおり。

#### 【市の評価結果】

- ・事務局（小牧市）より、資料1の2ページを用いて説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

#### 小林委員)

十分に理解が出来ていない部分があれば申し訳ないですが、『今年の5～6月に評価を実施して県を經由して国に提出したものの、その後、国や県から令和4年度の全国平均がフィードバックされていないため、令和3年度の全国平均と比較して検証している』との説明だったと理解しています。そうであれば、データの収集・結果の把握・その報告等のルーチンが上手に機能していないのではないかと感じました。

また、令和4年度の評価をこの時期に実施するというのは少し遅いのではないか、そもそも令和4年度の評価と令和3年度の全国平均を比較することにはあまり意味はないのではないかと思います。

#### 長岩会長)

国から令和4年度の全国平均が公表されていないこと、本協議会の開催日程が例年この時期にあることからある程度はやむを得ない部分があると思います。ちなみに今回の評価の分析結果やレーダーチャートについて、小牧市から各地域包括支援センターにはどのタイミングでフィードバックしていますか？

#### 事務局：小牧市)

5～6月に各地域包括支援センターが自事業所の自己評価を実施し、その結果を取りまとめて愛知県に提出していますので、評価結果自体は各センターが把握をしています。ただし、市が実施した分析の結果やレーダーチャート、他のセンターの状況などは本協議会で初めて共有されています。

#### 長岩会長)

分かりました。他はいかがでしょうか。

#### 田中委員)

初歩的な質問で恐縮ですが、2ページの記載は『各センターの総合的なまとめ』ではなく『小牧市の取り組み』を自己評価したという理解でよろしいですか。

#### 事務局：小牧市)

ご推察のとおり、小牧市の取り組み状況の評価を示した記載になっています。

#### 田中委員)

それであれば、小牧市の評価としてはレーダーチャートの『2-(4)地域ケア会議』

の部分がかかなり凹んでいるものの、各センターの同項目があまり凹んでいませんが、この差異についてご説明をお願いします。

**事務局：小牧市)**

まず、同じ地域ケア会議に関する評価項目でも参考資料2にありますように『市町村指標』と『センター指標』で内容が異なります。小牧市としてはこの『市町村指標』に照らし合わせた際、取り組み状況が不十分だと判断したものです。

**田中委員)**

分かりました。

### **【南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果】**

・小牧市が資料1の3ページを用いて説明。その後、南部地域包括支援センター管理者より令和4年度に重点的に取り組んだことを説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

**長岩会長)**

男性介護者交流会はどのくらいの人数が参加されますか。2ヶ月に1回の開催頻度というのはかなり多いですね。

**事務局：南部包括)**

1回あたり6～8名程度の参加があります。この交流会は男性介護者の虐待案件をきっかけとして開始した取り組みです。参加者はある程度、固定メンバーとなっており、たまに新しい方が入るという状況です。今では、参加者も楽しみにしていただいております。継続出来ています。

本日、委員としてお越しいただいているケアマネジャーの里見さんにもご参加いただき様々な人と繋がっている活動になっていると考えています。

**里見委員)**

男性介護者交流会では、どのようなタイミングで入所を勧めるかなどのお話をさせていただきました。また、『介護から卒業された方』という表現が適切かは分かりませんが、「これから介護を迎える人に発信していきたい」という方もお見えになっておりまして、そのような方々の交流の場として非常に有効であると感じました。

また、先ほどの三嶋さんの説明にありましたが参加される方が固定されているという状況ですので、より多くの方が参加できると良いなと感じました。

### **【小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果】**

・小牧市が資料1の4ページを用いて説明。その後、小牧地域包括支援センター管理者より令和4年度に重点的に取り組んだことを説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

**長岩会長)**

評価結果の中で職員配置の問題について指摘をされていますが、この辺りは事業を委託する上での要件にもなっていると思います。小牧市としてはこの事実に対してどのような解釈をしていますか。『様々な工夫をしても人員を確保し辛い』という事情についてやむを得ないと考えているのかその辺りはいかがですか。

**事務局：小牧市)**

専門職の人材確保、特に保健師の確保について苦勞をされているのではないかという認識はありますが、法人として適切な人材確保に努めていただきたいと思います。

### **【味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果】**

・小牧市が資料1の5ページを用いて説明。その後、味岡地域包括支援センター管理者より令和4年度に重点的に取り組んだことを説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

**里見委員)**

金田さんの説明の中で事業所が主体となって実施している認知症カフェの説明がありました。事業所サイドから申し出があつて開設したものか、地域包括支援センターから働きかけをして協力していただける事業所を探したのか、その辺りの経緯を教えてください。

**事務局：味岡包括)**

自主的に申し出ていただいています。1箇所はデイサービスで営業していない日を利用して地域の方に集まっていただきたいという形で立ち上がり、もう1箇所は訪問看護ステーションが空き時間と空きスペースを利用して主体的に行う形でスタートしています。また、それらの後方支援として、地域包括支援センターでは地域の方への広報を行ったり、職員が参加するなどの支援を実施しています。

**長岩会長)**

長年、地域に存在しなかった資源を1年間で3箇所も立ち上げたというのはすごく大きな成果であり、変化だと思います。

ちなみに『認知症カフェを立ち上げる際の話し合いの中で、講話や体操を盛り込むのではなく、ゆっくり話ができるカフェにしたいという意見にまとまった』と説明がありましたが、これは次から次へプログラムをこなすのではなく、もっと伸び伸び過ごせるような場を作ることを志向する意見が多かったということですか。

**事務局：味岡包括)**

認知症カフェの世話人となっていただく方は、サロンなど地域で活動されていることが多いのですが、『そのような場（サロン等）で付いていくのが難しくなった方』を受け入れる資源として「ゆっくり話せる場があるといいよね」という想いで一致し、それをコンセプトとしてスタートしています。

### **【篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果】**

・小牧市が資料1の6ページを用いて説明。その後、篠岡地域包括支援センター管理者より令和4年度に重点的に取り組んだことを説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

**小林委員)**

評価結果の中に高齢者人口の増大という記載がありますが、その辺りの考え方や対策はどのようにお考えですか。

**事務局：篠岡包括)**

高齢化率の上昇が大きいこと、地域の居宅介護支援事業所の閉鎖などケアマネジャーさんの数も減少しており介護予防ケアマネジメント業務の委託件数が減少していることなどから、地域包括支援センターで作成する予防プランの件数は大きく増加しており、令和4年度は委託に出す件数よりもセンターで作成する件数の方が上回る事態となっています。

このことから、なかなか他の事業に人材を割くことが難しい状況ではありますが、介護予防は重点的に取り組むべき事項と考えておりますので、『認知症予防ゲーム』を令和4年度から実施しています。

**長岩会長)**

この認知症予防ゲームというのは、オリジナルのものですか？

**事務局：篠岡包括)**

全国的に統一されたプログラムです。今まで小牧市では、小牧中部圏域のふれあいセンター（小牧市社会福祉協議会）にて定期的に実施されてきました。しかし、篠岡圏域からふれあいセンターまでは距離があるため、通うことが難しい方がいることが課題となっていました。そのため、篠岡圏域でも実施するために立ち上げています。

#### **【北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果】**

・小牧市が資料1の7ページを用いて説明。その後、北里地域包括支援センター管理者より令和4年度に重点的に取り組んだことを説明。質疑、主な意見は以下のとおり。

**長岩会長)**

郵便局長やお寺の住職が参加していると説明がありましたが、これは何かこのような話し合いに参加していただくための基盤があるのか、それともそのケースに関係する者として参加されたのかどちらですか。

**事務局：北里包括)**

地域協議会の委員として活動していただいています。圏域内には北里と藤島の2局の郵便局が存在しますが、いずれの郵便局長さんもお参加いただいています。お寺の住職さんも同じです。

**長岩会長)**

日本郵政から現場の郵便局長に「地域福祉にどんどん参加しろ」というような指示があったりするのですか。

**事務局：北里包括)**

ご推察のとおりで、過去には郵便局から「認知症サポーター養成講座を実施してほしい」との依頼があり、実施させていただいた経緯もあります。

#### **【ここまで全体を通して】**

**長岩会長)**

市や各地域包括支援センターから一通りご説明をいただいたが、全体を通じて何か聞いておきたいことやご意見などをご発言いただきたいと思いますがいかがですか。

**野口委員)**

地域包括支援センターの方々は、様々な課題解決のために令和4年度の重点項目を挙げられたと思います。人員が充足されていない問題を抱えつつも地域課題解決のために取り組んでいられるので、なかなか苦しいのではないかなと思うのですが、今後の事業の進め方についてお伺いしたいです。

令和4年度に重点目標として挙げた課題については、今後も同じレベルで継続していくおつもりなのか、『令和4年度はこの課題、その次の年はこの課題』というように別の重点目標を定めて取り組むのかその辺りをどうお考えですか。

**長岩会長)**

代表して青木さん、いかがですか。

**事務局：小牧包括)**

先ほど説明させていただいた民生委員不在の地区の課題を例にすると、ゴールをどこに定めるかの判断は難しいですが、『地域包括支援センターは何かあったら相談できる場所なんだよ』と地域住民に知ってもらうことが目安になると考えます。

そうすると、重点目標の達成は1年間では難しく、3年間など一定の期間を定める必要があると考えていますが、今後、同様に民生委員不在の地区が複数出現することになるとどこかで考え方を改めていく必要があるとは思っています。

また、先ほどから何度か話題に上っていますが、職員の充足は非常に重要な要素だと考えておりました、予防プラン作成に係る委託率は50%を下回ってはいないものの、過去数年間の推移を見ても明らかに予防プランの件数が増えています。

そのことから、地域包括支援センターの職員は直接予防プランを担当し、訪問計画を作成、対応しているということであり、必然的に業務が増加しているということです。

この状況が続くようであれば、「出来るだけ地域のことも頑張りたい」という想いと裏腹に業務を制限せざるを得ない状況が発生してしまう可能性があります。

**長岩会長)**

毎回、重点課題を検討することは面倒な部分もあると思います。ただ、委託元の行政の方からの指摘にもありましたとおり、地域課題等を踏まえて業務の効率化に努めていただくことが求められていると思いますのでよろしくお願いします。

**長岩会長)**

他の方、いかがですか。

**河内委員)**

小牧市リハビリテーション連絡会の河内です。私は地域包括支援センターの評価指標が存在すること自体知らなかったのが興味深く拝見させていただいていたのですが、継続的なケアマネジメント支援業務などについては、令和6年度から開始する介護保険の介護給付適正化計画と併せて、市と地域包括支援センターが協力して良い方向に向かえばと思います。

また、参考資料2には、地域ケア会議については5つの機能があり、課題の抽出と

か、ネットワークづくりなど、様々な機能を持った地域ケア会議を開催するように記載がありますが、今の小牧市の地域ケア会議がきちんと機能しているのか教えていただきたいです。

**事務局：小牧市)**

地域ケア会議に対する取り組みについて、市が充分に対応できていない部分は参考資料2の4 1～4 3の部分、例えば議事録の共有方法であったり、個別事例を継続的にモニタリングするルールなど、市がセンターに対して方針や仕組みを示さなければならない部分で、これらの部分については各地域包括支援センターが自事業所の方針に基づいて対応していただいております。

今後の対策として、これらの内容を『個別地域ケア会議マニュアル』の中に盛り込み、明文化することで事業の機能強化につなげていきたいと思っております。

**福澤委員)**

人員確保は大変重要な課題であり、居宅介護支援事業所が減っている状況では地域包括支援センター内での育成も検討していく時代になっているのかも知れません。

そのような中、北里地域包括支援センターが重層的な地域ケア会議において様々な機関と連携を取って課題に対応したということは、「こうあるべき」という一つの形を見せていただき、地域包括支援センターの面目躍如という風を感じ取っておりました。これからも頑張ってください。

**長岩会長)**

ありがとうございます。人員の確保が特定のセンターだけの課題であれば、そのセンターで検討しなければいけないのですが、各センターが共通して同じ課題を抱えているのであれば、委託元の小牧市でも何かテコ入れのようなことが必要なのかも知れないですね。

**梶野委員)**

少し場違いな発言になってしまったら申し訳ないのですが、当院も人員確保に苦勞しておりまして、他の先生に「どうやったら人材が集まりますか？」と尋ねたところ、「給与を上げるか、診療時間を短くしろ」とのことでした。もしかしたら、地域包括支援センターではなかなか難しいのかもしれませんが。

また、介護離職を低下させるために『〇〇マイスター』などの資格を作るとよいのかなと思いました。公的な資格ではないにしても、そのような肩書があると良いと感じました。

**長岩会長)**

人材の確保は、福祉業界だけの話ではなく、建築業界など様々な部分で発生しているので、単独で頑張っても解決できる問題ではないのかもしれませんが。しかし、いずれにしても人がいなければ成り立っていかない業界なので、引き続き協議していただければと思います。

### 【評価結果の比較】

- ・小牧市が資料1の8ページを用いて説明。
- ・小牧市の取り組み内容としては地域ケア会議の項目を見直すこと、各地域包括支援センターに対しては、過去5年間で地域包括支援センターの業務が増加しているため、総合相談や権利擁護などの市民対応業務に支障をきたすことがないように適切な人員配置計画に努めていただきたい旨を説明した。

### 3. 報告

#### (1) 第1号介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部委託について

- ・事務局より、前回の協議会以降、2件の申請を承認したことを説明。質疑なし。

### 4. 閉会

《次回開催 令和6年2月1日(木)》